

# LE NOZZE DI FIGARO

# フ

# イ

# ガ

# ロ

# の

# 結

# 婚

総監督——前川 澄夫  
指揮——富岡 健  
演出——荻野 円蔵

美術——小林 優仁  
衣装——山口 次世  
振付——下山 久美子  
舞台監督——宮城 信之



第11回兵庫のまつり——篠山市ふれあいの祭典  
阪神・丹波地域連携事業

多紀郡4町合併 篠山市誕生記念公演

たんばオペラフェスティバル

市民オペラ

## フィガロの結婚

W・A・モーツァルト作曲  
全4幕 日本語上演

2000年 2月12日(土) 18:00開演

13日(日) 13:30開演

## たんば田園交響ホール

一般3,500円/学生1,000円[全自由席]

主催:篠山市ふれあいの祭典実行委員会・篠山市  
ふれあいの祭典実行委員会・兵庫県  
兵庫県教育委員会・(財)兵庫県芸術文化協会  
後援:篠山市教育委員会  
協力:アールティエス(株)・平山古楽器製作

お問い合わせ:たんば田園交響ホール  
TEL(0795)52-3600

### キャスト

12日(土) 13日(日)

フィガロ——嶋本 晃——雁木 悟  
スザンナ——田村 博子——宮西 央子  
伯爵——中山 知明——周 江平  
伯爵夫人——外山 聖子——安成 明美  
ケルビーノ——中路 美紀——白井 明美  
バルトロ——佐藤 英朗(両日共)  
マルチェリーナ——平田 昭子——近藤 裕子  
バジリオ——竹内 直紀——馬場 清孝  
アントニオ——土井 明平(両日共)  
バルバリーナ——出口 まりこ——藤原 舞  
ドン・クルツィオ——臼井 久典(両日共)  
花娘Ⅰ——桑村 知央——酒井 由美子  
花娘Ⅱ——酒井 沙織——谷田 亜紀  
合唱——たんばCity合唱団  
オーケストラ演奏——たんばCity管弦楽団  
(メロマン室内管弦楽団と西宮交響楽団のメンバー有志)  
ゲストコンサートミストレス——富田 美幸  
チェンバロ——前川 尚子

### スタッフ

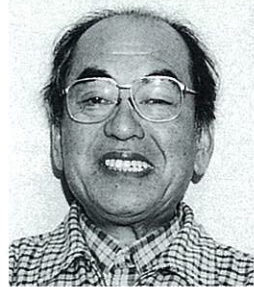
照明——克原 功  
カツラ・メイク——丸善カツラ  
副指揮——前田 繁実  
見澤 祐司  
演出助手——川端 ヒロユキ  
演出補——市村 美紀  
小笠原 明子  
舞台監督助手——酒井 俊文  
荒木 銀子  
梅本 りな  
美術製作チーフ——細見 輝雄  
衣装助手——田崎 一枝  
藤本 友子  
三宅 幸子  
プロジェクションチーフ——阪本 勝  
練習ピアニスト——堀井 さやか  
井本 裕美  
中川 ひろ子  
中西 礼子  
舞台操作——オペレータークラブ

### プレイガイド

《篠山市内》  
●小山書店 52-0019 ●森本書房 52-0125  
●木下楽器 52-0321 ●サヤマ楽器 52-2019  
●みずほトラベル 52-4488 ●JA丹波旅行センター 94-3090  
●リプロ 94-0188 ●NEWS篠山総合サービスセンター 94-3700  
●西紀公民館 93-1111 ●今田公民館 97-2255  
《三田市内》  
●三田サティ3Fサービスコーナー 64-2121  
《氷上郡内》  
●柏原観光案内所 73-0303 ●丹波の森公苑 72-5170  
●春日町文化ホール 74-1050 ●ライフピアいちじま 85-3030

# フィガロの結婚

魅力いっぱいの舞台を皆様に!!



総監督  
前川 澄夫

(たんば田園交響ホール参与)

市民参加の本格的なオペラ。ステージを見れば、あの人も知っている。舞台裏ではきびしい研修を重ねてきた地元のオペレーターたちが、玄人はだしの仕事に走りまわる。そして、ステージはオーディションを通過した市民をはじめ、近郊の町々の歌い手にプロの方も加わって、日夜練習に余念がない。今回は、篠山で公演するオペラとしてははじめてレチタテヴォ、つまりメロディーで掛け合う会話の部分が多いが、これは相手がいることなのでなかなか骨がおれる。

でも、この部分は殆どチェンバロと言う古い時代の楽器が伴奏するので、オーケストラと対比しながら聞くとなかなか楽しいものだ。一人ひとりに優劣の差はあるわけだが、その人がいなければどんなオペラもなりたないわけで、そこがオペラのむずかしさであり面白いところでもある。そして聴衆の参加があり、あたたかい声援によって、わたしたちの市民オペラははじめて光をはなつのである。

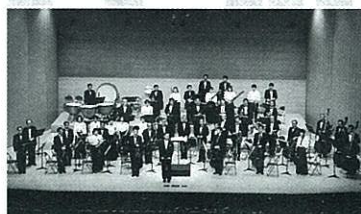
## 「フィガロの結婚」のあらすじ

スペインはセビリア近郊、アルマヴィーヴァ伯爵廷。伯爵の従僕フィガロは伯爵夫人の侍女スザンナとの結婚を控えて上機嫌。ところが、伯爵もスザンナにご執心で、廃止したはずの初夜権を復活させようとしている。フィガロは伯爵の思惑を知り大いに憤慨し、持ち前の機転でそれを阻止しようと策を巡らす。一方、伯爵の愛が薄れてきたことを嘆く伯爵夫人も、何とか伯爵を懲らしめようとスザンナと共に計略を練る。

しかし、事はそうたやすく運ばない。女性と見れば誰でも口説く早熟な小姓ケルビーノは、伯爵夫人に夢中。一方、フィガロに恨みのある医師バルトロは、音楽教師バジリオと結託して、年甲斐なくフィガロに横恋慕の女中頭マルチェリーナをくっつけようと画策中。医師のアントニオ、裁判官のドン・クルツィオそしてバルバリーナ(庭師アントニオの娘)の登場、それぞれの思惑が絡み合い、大騒動が次々と持ち上がる。

バルトロの計略で、フィガロはマルチェリーナとの結婚を言い渡される。ところがマルチェリーナは実はフィガロの生みの母、バルトロは父だと判明し、めでたくスザンナとの結婚が実現する。しかし、夫人とスザンナの計略はこれからなのだ。

そして、夜。偽の恋文で伯爵を庭園に誘い出し、暗闇で、スザンナに成りすました夫人、夫人に成りすましたスザンナ、フィガロ、伯爵の密会劇が繰り広げられる。まんまと策にはまった伯爵は、やがて正体をあらわした夫人に平謝り。すべてまるくおさまったところで幕となるが……詳細は交響ホールの本番をおたのしみに。



たんばCity管弦楽団



たんばCity合唱団

指揮：富岡 健 とみおか けん



同志社大学法学部卒業後、ミシガン州立ウェーン大学音楽部指揮科に学ぶ。喜歌劇楽友協会「こうもり」での指揮デビューの後、近畿一円のプロオーケストラ、プロ合唱団の演奏会の他、各地に展開されているオペラの指揮に奔走。特筆すべきは、92年ベルリン・コミッシュオーバーでの東西ドイツ統一記念公演、97年の全日本合唱連盟主催コンクールでの京都フラワーコーラスの全国第1位グランプリ受賞などがあげられる。また「エレクトーン関西大会」「日中友好音楽コンクール」審査員、合唱講習会講師に招聘されるなど、地域の音楽文化の活性化にも寄与している。指揮法を故福永陽一郎、若杉弘、小林研一郎の各氏に師事。現在、大阪芸術大学、神戸山手女子短期大学講師を兼任。

演出：荻野 円蔵 おぎの えんぞう



関西学院大学卒業。在学中に映像や演劇に興味を持ち、裏方の世界に入る。歌謡ショー・ミュージカル・演劇・パレエ等の舞台監督をしている中でオペラと出会う。関西二期会を中心に神戸オペラ協会・京都オペラグループ・大阪オペラ協会、他地域オペラの舞台監督や演出家として活躍している。また、ピッコロ技術学校の講師を2年間努め、後進の指導も手掛けており、関西では『ユニークなスタッフ』として東京の裏方仲間にも人気を呼び交流が深い。兵庫のまつりふれあいの祭典事業の初年度から舞台監督兼演出助手を務めている。現在、フリーランス。

## CAST

※印はゲスト出演者

12日  
(土)



フィガロ※  
嶋本 晃



スザンナ  
田村 博子



伯爵※  
中山 知明



伯爵夫人  
外山 聖子



ケルビーノ  
中路 美紀



バルトロ  
佐藤 英朗



マルチェリーナ  
平田 昭子



バジリオ※  
竹内 直樹



アントニオ  
土井 明平



バルバリーナ  
出口 まりこ



ドン・クルツィオ  
白井 久典



花娘 I  
桑村 知央



花娘 II  
酒井 沙織

13日  
(日)



フィガロ※  
雁木 悟



スザンナ  
宮西 央子



伯爵※  
周 江平



伯爵夫人  
安成 明美



ケルビーノ  
白井 明美



バルトロ  
佐藤 英朗



マルチェリーナ  
近藤 裕子



バジリオ※  
馬場 清孝



アントニオ  
土井 明平



バルバリーナ  
藤原 舞



ドン・クルツィオ  
白井 久典



花娘 I  
酒井 由美子



花娘 II  
谷田 亜紀